

知床・斜里町で体験する

「流氷ウォーク」

海の上を歩くように流氷の上を歩く。冬の知床・斜里町ならではのアクティビティ「流氷ウォーク」。ドライスーツ着用で流氷と遊ぶ流氷ウォークをはじめ、道東ならではの流氷の遊び方、楽しみ方を紹介します。



流氷は冬の道東観光とオホーツクだけの宝石箱

冬の道東観光を代表するキーワードの一つ「流氷」。北海道の冬の風物詩とも言えそうなこの流氷を見られるのは日本ではオホーツク海沿岸だけで、この流氷を見るために多くの人が冬の道東を訪れます。

流氷の名所と言えば知床、網走、紋別が有名ですが、この流氷はどこからやって来るものかというと、ロシアのアムール川河口付近で生まれ、長い旅をしながら北海道の北東やオホーツク沿岸に流れ着くのです。季節風に乗りながら、アザラシやオジロ

ワシの棲家になつたり、沢山のプランクトンを運び漁場を豊かにする役割も担っています。1月中旬から下旬になると沿岸から流氷の訪れを確認できるようになります。

そんな流氷の楽しみ方としてよく知られているのが碎氷船に乗船して流氷観光を楽しむことかもしれません。網走発着の流氷観光砕氷船は、南極観測船と同じように氷を砕きながら進みます。2023年からは小型観光船が運行を始め、水中ドローンで流氷を海中からアルタイムで撮影した動画を船内モニターで映し出しています。



網走信用金庫
地域情報誌

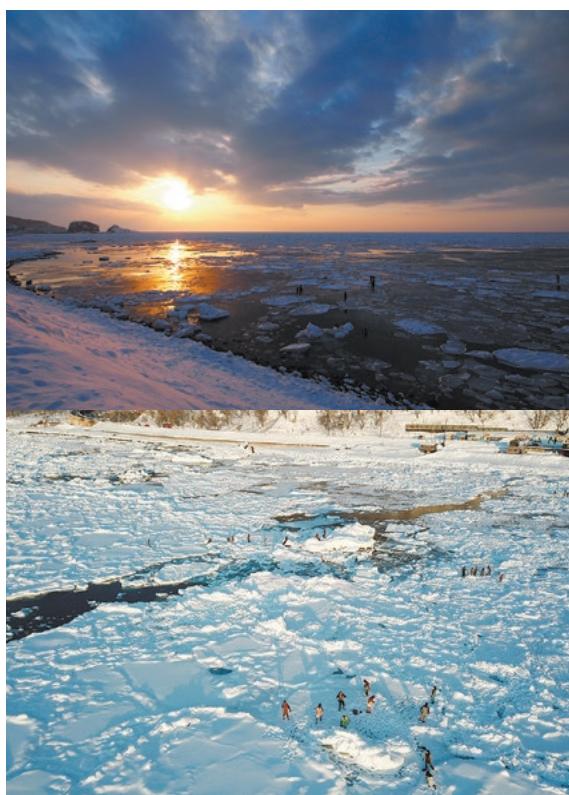
地域の扉

● 2024年12月号 Vol.28

[もくじ]

- 知床・斜里町で体験する
「流氷ウォーク」 ①
地域の駅 ②
地域のイベント情報 ③
道東大人の旅と道の駅 ④

ご自由に
お持ち帰り
ください



ガイドさんの案内です
流氷と遊びつくす

最近注目されている流氷観光の目玉が「流氷ウォーク」です。知床・斜里町でガイド会社が主に主催して開催されます。海面に浮かぶ流氷の上を歩きますが、ドライスーツを着用するので海に落ちることがあっても体が浮くので安心。保温性も高いので、冬の寒さも忘れさせます。60～90分程度ですが、ガイドさんに案内されながら非日常的な流氷の上を歩くという体験は、それまで経験したことがないような感動を味わわせてくれます。高齢者は無理のない範囲で、子どもは小学生以上であれば参加できます。冬の知床斜里町がますます楽しくなりそうです。



ちいきのえき

地域の駅

vol.5

Chiikinoeki

網走
Abashiri信金
Shinkin

地元の駅を紹介するこのコーナー、第5回目は釧網本線の茅沼駅～釧路駅です。

●JR釧網本線・茅沼駅の駅舎



1989(平成元)年に改築された駅舎。92年より完全無人化。

「タンチョウの来る駅」として知られる「茅沼(かやぬま)駅」。JR釧網本線の標茶町にあるログハウス風の無人駅です。開業してから100年近くなる駅でも、もともとこの地一帯に茅(かや)が群生していたことが、駅名の由来となります。釧路湿原の北端の駅の一つでもあり、駅を含めたこのエリアは国立公園内に位置しています。

タンチョウが飛来するようになつたのは、かつて有人駅だった時代に駅員が餌付けしたことなどがきっかけだつたと伝えられています。当時の駅長交代時には、事務引き継ぎ事項として餌やりが明記されていたという記録も残されているようです。

JR釧網本線の標茶町にあるログハウス風の無人駅です。開業してから100年近くなる駅でも、もともとこの地一帯に茅(かや)が群生していたことが、駅名の由来となります。釧路湿原の北端の駅の一つでもあり、駅を含めたこのエリアは国立公園内に位置しています。

1 茅沼駅

道東エリア観光の起点となる「釧路駅」。1961(昭和36)年に現在の民衆駅に改築され、地下一下階地上4階建ての地下には、かつてステーションデパートが開業していました。

3 釧路駅

●JR釧網本線の釧路湿原駅舎



カラマツ材でできたログハウス風駅舎の屋根は、翼を広げたタンチョウをイメージしたもの。

釧路湿原を見下ろすことができる展望台の中で最も人気のある細岡展望台に近いということで利用する観光客が多く見られる「釧路湿原駅」。1998年(昭和63)年に臨時駅として開業。1996(平成8)年に常設駅になりました。

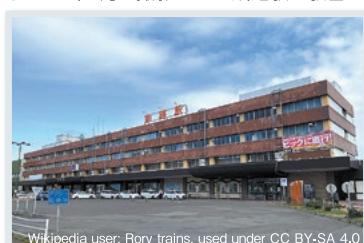
2 釧路湿原駅

が、2004(平成16)年に閉店。当時を懐かしむ人も少なくなります。

かつて炭鉱や漁業が盛んだった時代は人口が多く華やかだった釧路駅周辺ですが、近年は空洞化対策として、経済基盤の構築や雇用創出など、新たな町づくりが進められています。



●2021年9月に撮影したJR釧路駅の駅舎



1901(明治34)年に開業した初代釧路駅は17(大正6)年に現在地で2代目釧路駅として開業。61(昭和36)年に現駅舎に改築。

●JR釧網本線・遠矢駅の駅舎



1988(昭和63)年に改築、1992(平成4)年に無人駅になった遠矢駅。

●JR根室本線/釧網本線・東釧路駅の駅舎



1957(昭和32)年に改築された東釧路駅。

地域のイベント情報

第26回 2025北見厳寒の焼き肉まつり

北見市 2025年2月7日(金)



北見の「寒さ」と「焼き肉」をPRしようと始めた「北見厳寒の焼き肉まつり」。マイナス10度前後の夜空の下、白い息と煙に包まれ焼き肉を味わう北見の冬の風物詩です。

- 開催場所／北見芸術文化ホール駐車場特設会場
(北見市泉町1丁目3-22)
- 時 間／開場17時、開会17時30分～20時
- 料 金／10,000円で4名まで参加できるチケットを販売
- 問合せ／(一社)北見市観光協会
☎0157-32-9900

第12回 つべつアイスキャンドルまつり

津別町 2025年2月1日(土)



厳寒の時期だからこそできる町民手作りのアイスキャンドルが数百個並び、温かい光が灯るなか、焼き鳥やフランクフルト、肉まんなどの屋台やライヴなどを楽しめます。

- 開催場所／津別町多目的センターさんさん館
(網走郡津別町大通7)
- 時 間／14時～20時(予定)
- 料 金／入場無料
- 問合せ／つべつアイスキャンドルまつり実行委員会
☎0152-77-3771

第60回 あばしりオホーツク流氷まつり

網走市 2025年2月8日(土)～9日(日)



流氷の季節に開催される網走の冬の定番イベント。会場には氷雪像が並ぶほか、多彩な催しが行われます。ご当地グルメや氷の滑り台、流氷輪投げなども楽しめます。

- 開催場所／網走商港埠頭特設会場(網走市港町)
- 時 間／※開催時間は後日決定予定
- 料 金／入場無料
- 問合せ／網走市観光課
☎0152-67-5470

第23回 オホーツク屋台村

網走市 2025年2月7日(金)～8日(土)



会場をテントで構成し、焼き台を設置した網走版冬の屋台村。地元の食材をその場で焼いて楽しめるのがこのイベントの醍醐味です。

- 開催場所／網走市南4条中心街屋台村会場
- 時 間／※開催時間は後日決定予定
- 料 金／前売券1,000円、当日券1,300円(予定)
- 問合せ／オホーツク屋台村実行委員会
☎090-5073-5083

道東 大人の旅と道の駅①

北海道内に2024年12月現在127ある道の駅。地域の生の情報を発信したり、道の駅ならではの地元グルメを味わえたりもします。そんな道の駅の中から今回は知床・斜里町の2つの道の駅を紹介します。

道の駅しゃり

知床に関する観光情報の発信と、 地域住民による憩いの場。

斜里町は日本百名山のひとつ斜里岳を仰ぎ、雄大なオホーツクと知床の自然に育まれた町です。先人が守り続けてきた豊かな自然は、2007年世界自然遺産に登録され、すばらしさを人々に伝えていく大きな使命がスタートしました。道の駅「しゃり」はその知床の玄関口、斜里町の市街地に位置する道の駅で知床に続く駅として、さまざまな知床の情報を発信している、明るく開放的な雰囲気の建物です。

2024年7月にオープンした「Shiretoko Sustainable Station COBAKOShari」では、お土産としても人気の「知床トコさん」の商品をはじめ、知床の多様さを表現したデザインのグッズや地域内で作られた工芸品等を販売するほか、コーヒーや斜里町の農産物使用のにんじんジュース、しそジュースなどの飲料提供も行い、観光客と地域住民との交流の場になっています。



斜里郡斜里町本町37番地
☎0152-26-8888
営業時間／9:00～19:00
定休日／年末年始
駐車場／普通車19台、大型車2台

道の駅うとろ・シリエトク

知床の種類豊富な捕れたての魚介類、 季節ごとに旬の味を堪能。

道の駅スタンプラリーで完走者が選ぶ北海道の「道の駅」ランキングで、地域や観光の情報提供が充実していたと感じた「道の駅」部門で6年連続1位になったことがある人気の道の駅。世界遺産知床の情報が盛りだくさんで、知床でのマナー、世界自然遺産登録地域、野生動植物に関してなど、常に生きた情報を提供する観光案内所には、観光客にとってはありがたい情報が満載。

ウトロで水揚げされた鮮魚の販売コーナーも充実し、地元食材を自社工場で製造された加工品をはじめ、知床オリジナル商品を数多く扱っており、ウトロで水揚げされた新鮮な旬の海鮮丼や、焼魚定食などを提供するレストランも充実。隣接するティクアウトコーナーではオリジナルソフトクリーム、鹿肉バーガー等も取り扱っています。



斜里郡斜里町ウトロ西186番地8
※11月～4月は国道334号通行止め
☎0152-22-5000
営業時間／9:00～17:00
定休日／12月の毎週木曜日、年末年始
駐車場／普通車87台、大型車12台

■2024年12月2日発行

■編集・発行

網走信用金庫
地域振興支援部

〒093-0005
網走市南5条東1丁目4-1

☎0152-67-4128

「地域の扉」では、季節に合わせた記事を紹介しています。網走信用金庫の営業エリアにて、まだ知られていないスポットなども紹介できればと考えていますので、皆様にもお楽しみいただければ幸いです。

今回は流水シーズンに合わせた冬のイベントやスポットを紹介しました。近年は季節の移り変わりが急に訪れることが多く、体調管理にも気を付けなければいけません。

編集後記